

吉備の帆立貝形古墳

岡山市埋蔵文化財センター 寒川 史也

1. 帆立貝形古墳とは

これまでの位置づけ… 古墳築造の面での「規制」という視点
研究の方向性 … 平面形態における区分く前方後円墳・帆立貝形(式)古墳・造出付円墳
といった分類>

2. 吉備における中期古墳の中での把握

前方後円墳もしくは造出付円墳にみられる要素間の比較の試み
立面で検討した場合の考え方 ⇒ ○○○○○ そもそも「造り出し」とは

3. 分布と時期

中期に入って畿内を中心に全国的な広がりをもつ 奈良盆地南西部<馬見古墳群>の様相
また大型のものは中期の中でほぼ築造を終える 総社市長良山2号墳の墳丘測量

4. 被葬者像

軍事的で従属的な性格をみとめる捉え方についての再考
→ 大型方墳の分布との対比
→ 畿内古市・百舌鳥古墳群の中での変遷(陪塚論)

5. 論点の整理

- ・中期に入り展開していく造り出しにおける祭祀
- ・前期後葉から中期になる頃に拡大する墳丘選択の幅
⇒ 複雑細分化した支配構造に対応するためのもの?

【参考文献】

鎌木義昌 編 1965『総社市 随庵古墳』 総社市教育委員会
近藤義郎 編 1960『月の輪古墳』 月の輪古墳刊行会
沼澤 豊 2006『前方後円墳と帆立貝古墳』 雄山閣
遊佐和敏 1988『帆立貝式古墳』 同成社

資料 1

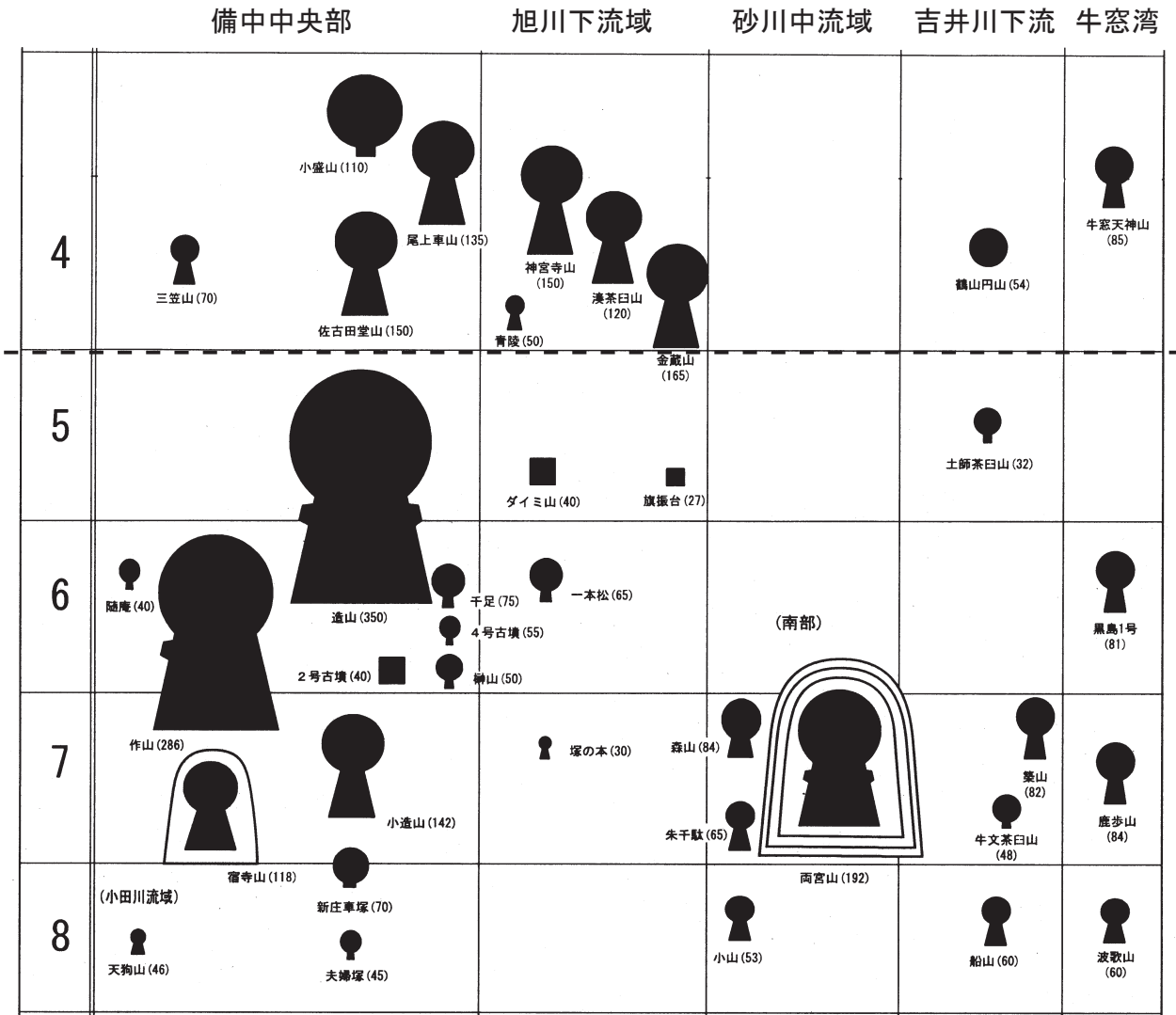
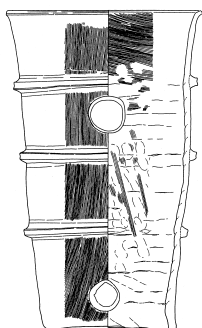


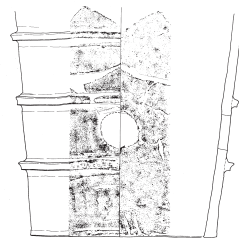
図1 備前・備中地域の主要古墳編年



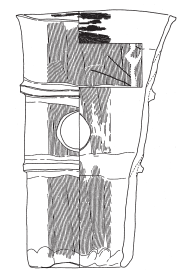
金蔵山古墳



佐古田堂山
2号墳



作山古墳



南坂8号墳
埴輪棺

図2 円筒埴輪の変遷

資料 2



図 3 総社市長良山 2 号墳
墳丘測量図

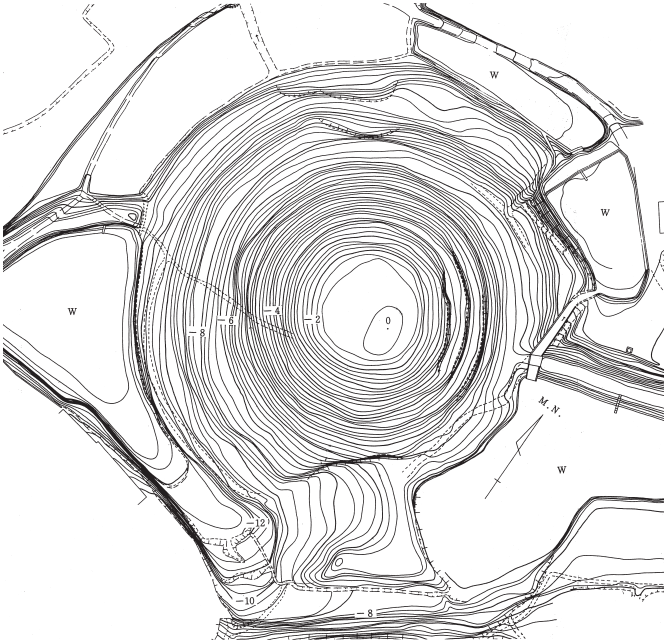
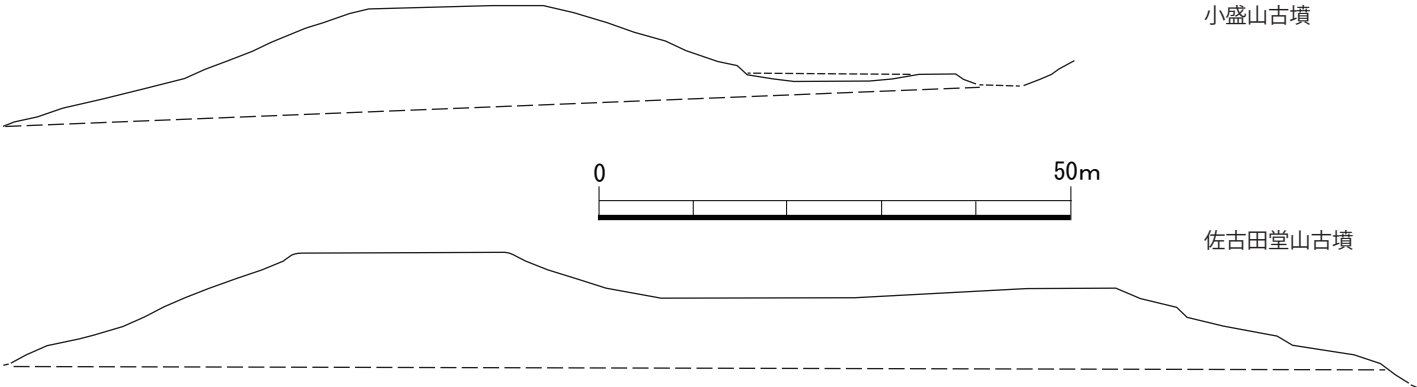
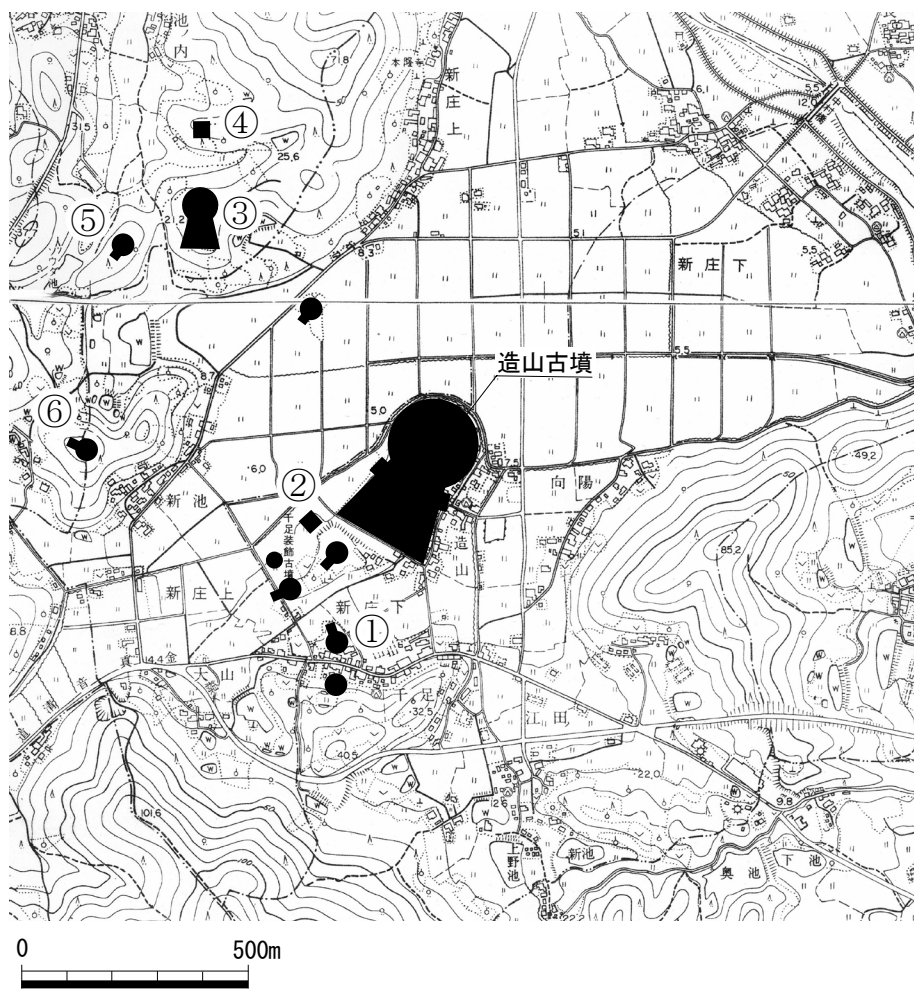


図 4 小盛山古墳
測量図

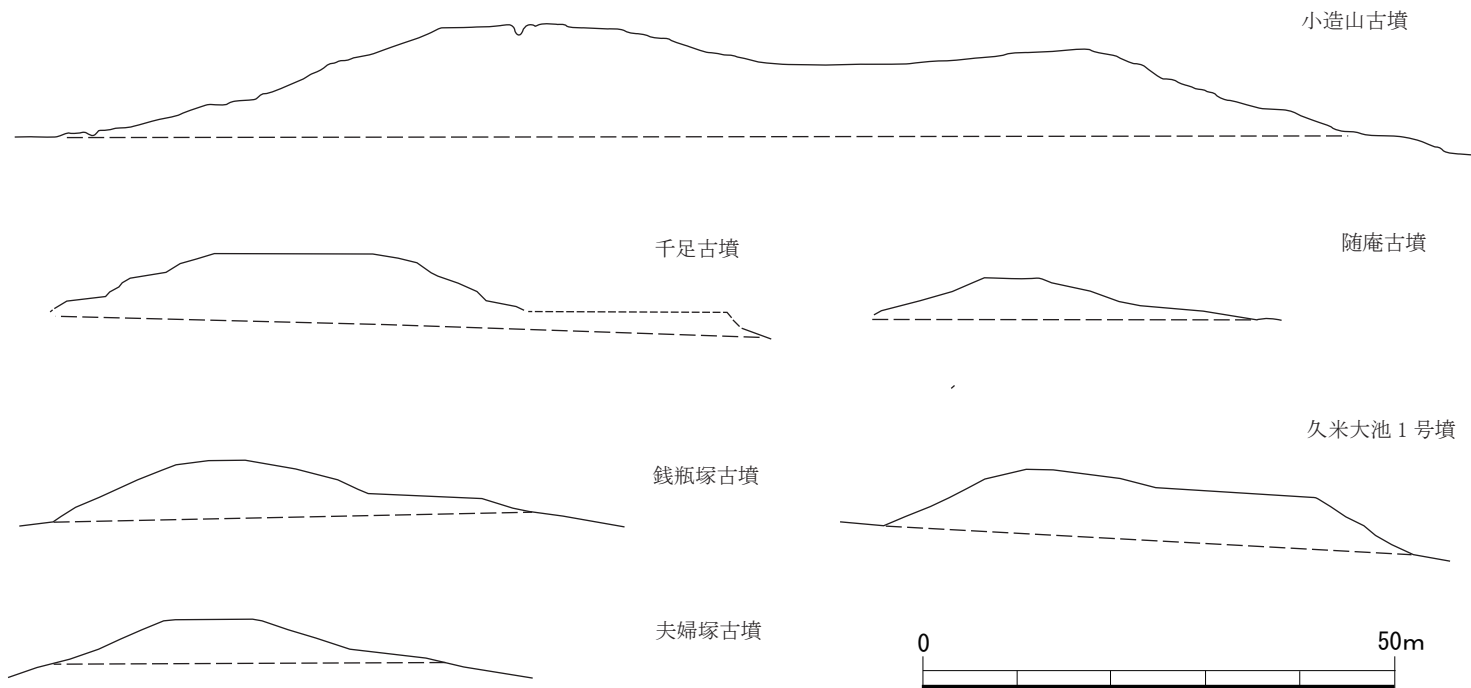


資料 3



- ①千足古墳
- ②造山第2号古墳
- ③小造山古墳
- ④折敷山古墳
- ⑤夫婦塚古墳
- ⑥銭瓶塚古墳

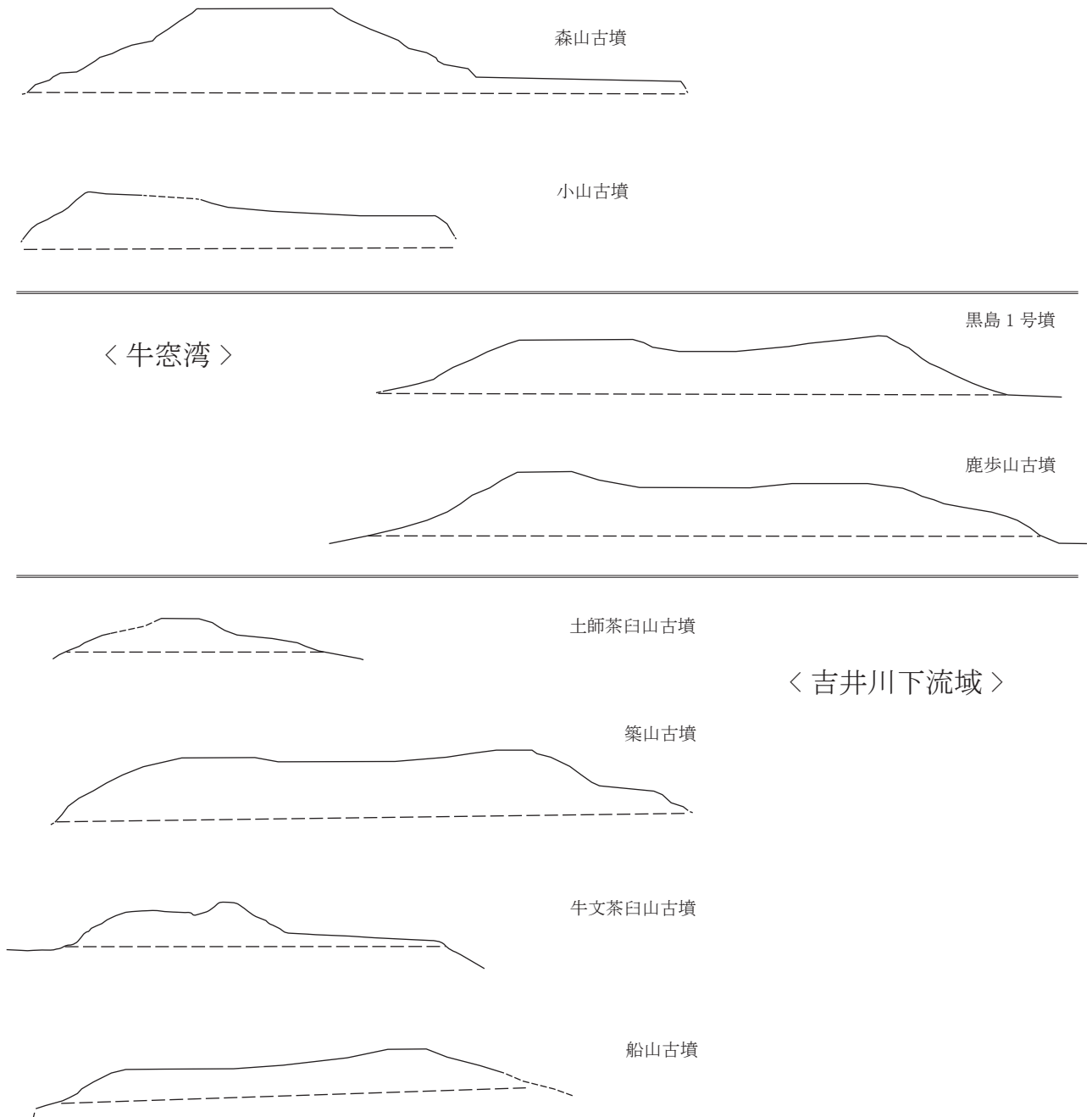
図 5 造山古墳周辺の古墳立地



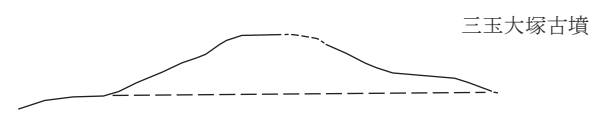
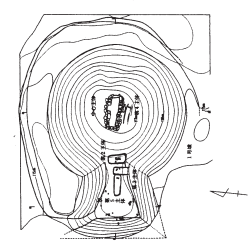
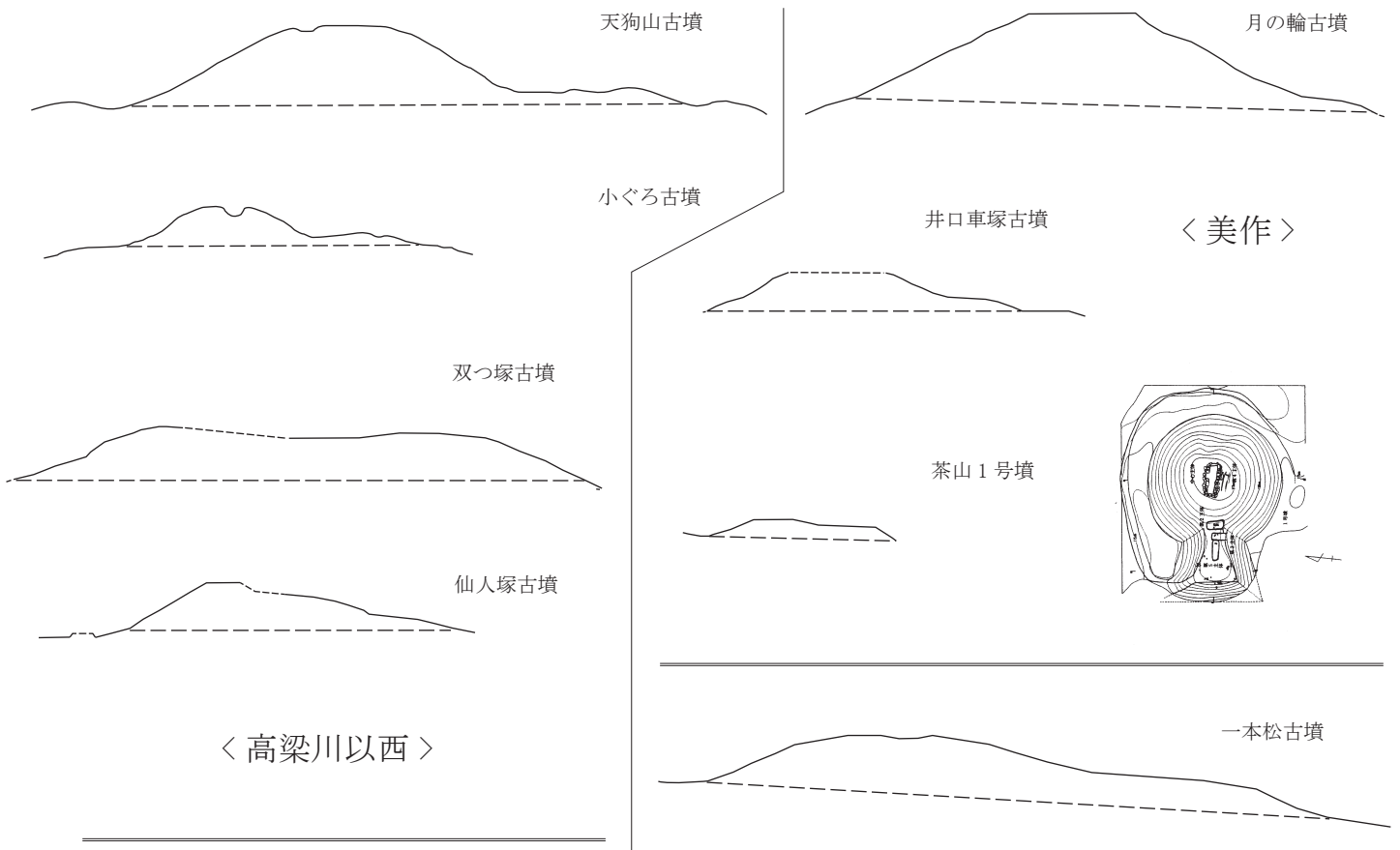
資料 4



図 6 両宮山古墳周辺の古墳立地



資料 5



〈旭川下流域〉

〈備後〉



図7 帆立貝形古墳と造り出し付円墳の分布
〔墳丘規模 70m 以上〕

資料6

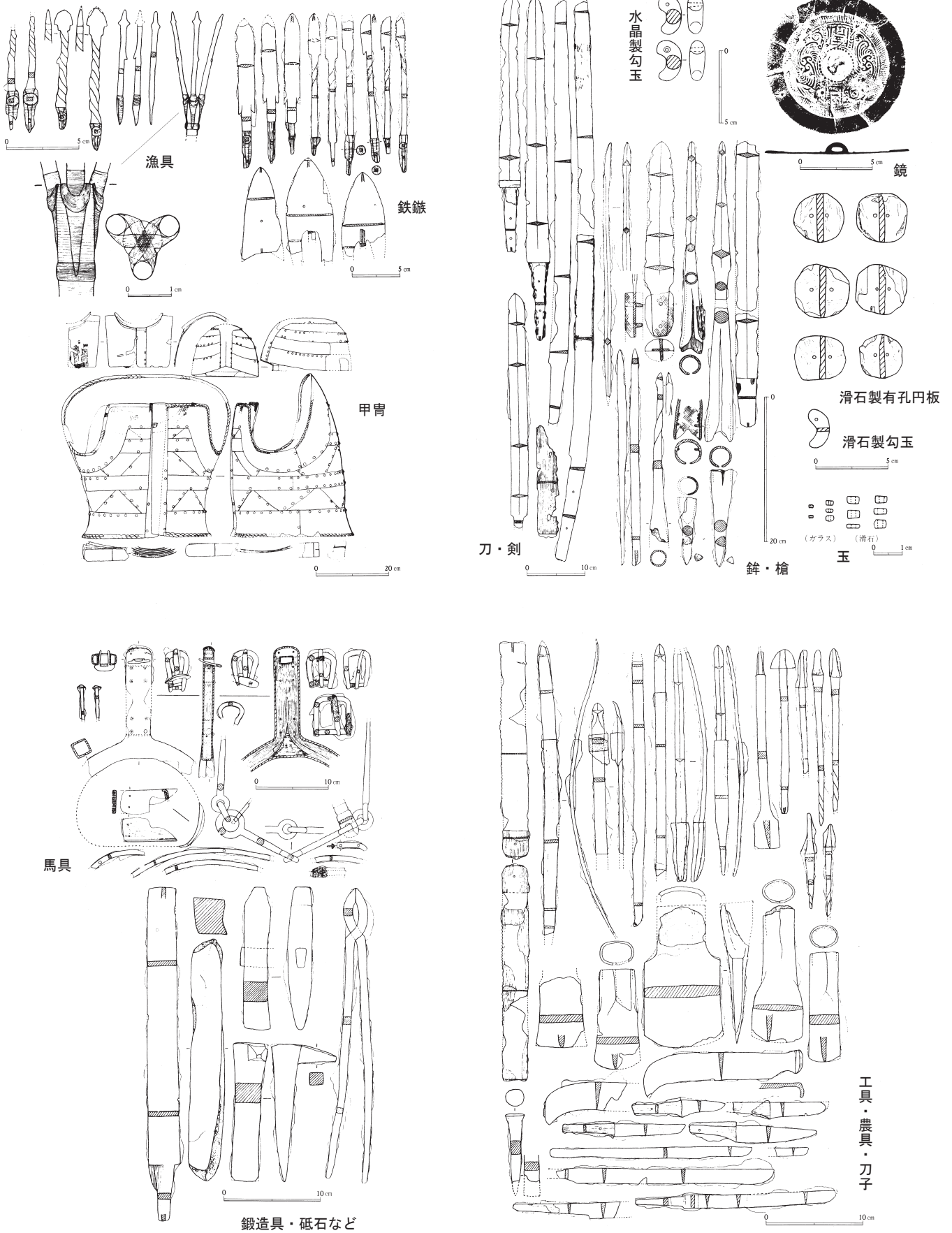


図8 随庵古墳出土遺物

資料 7

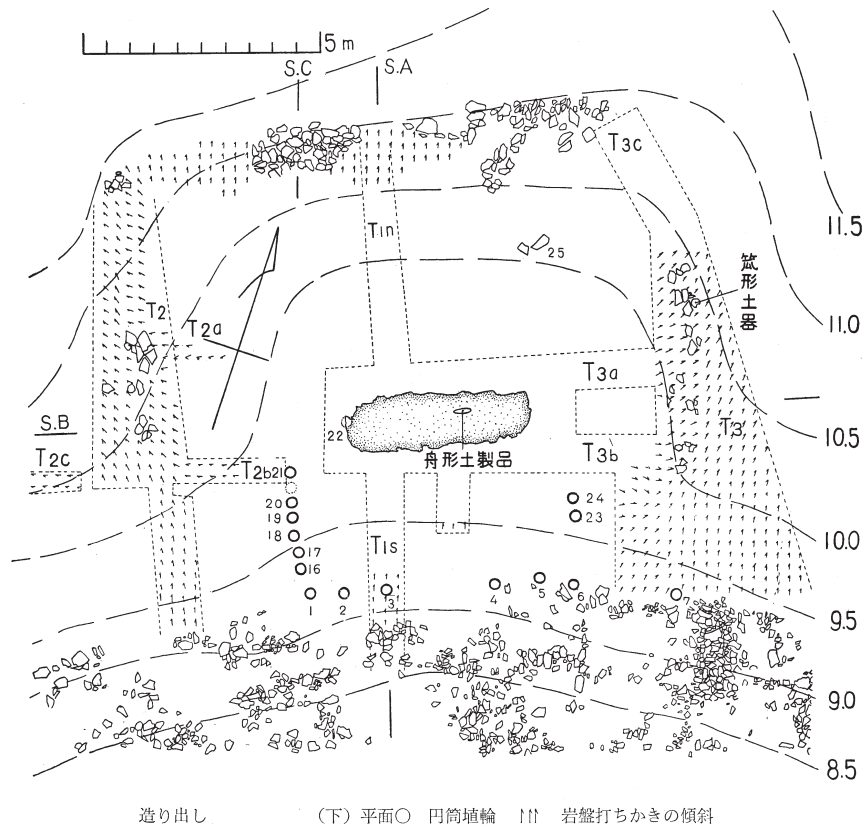


図 9 月の輪古墳造り出し埋葬施設 (粘土槨)

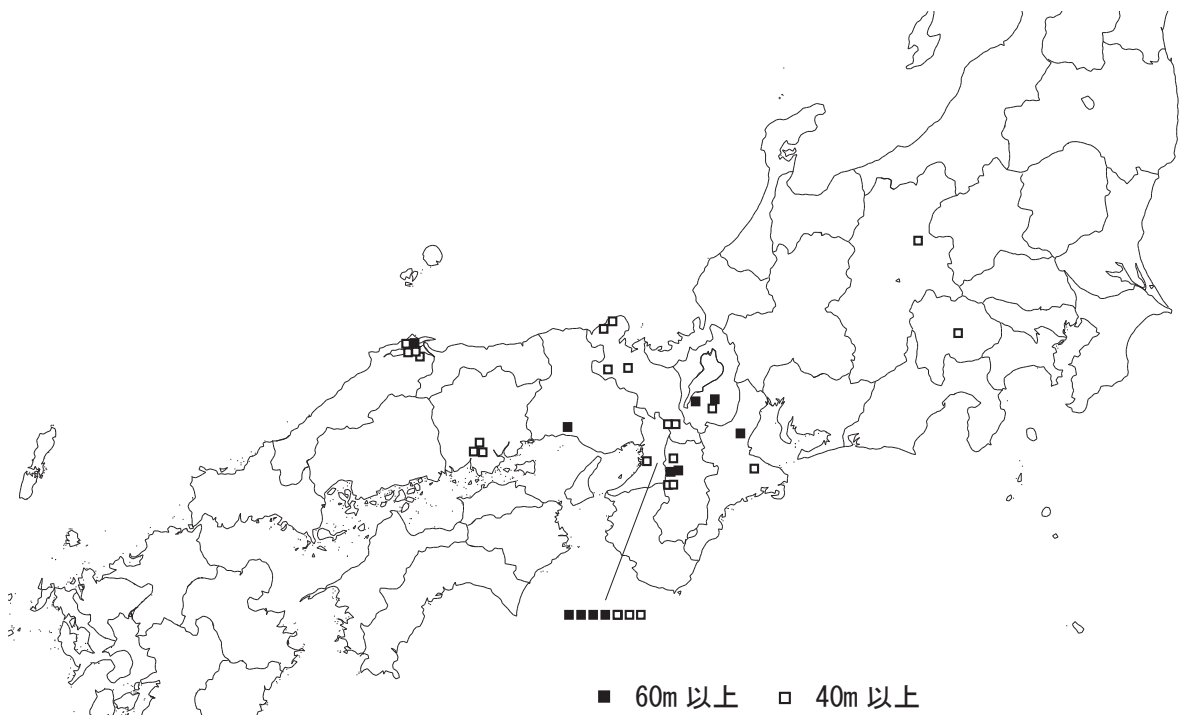


図 10 大型方墳 (古墳時代中期を中心に)